

来週の「売り物」記事はこれ



2015年8月7日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

日航ジャンボ機墜落

御巢鷹に咲いた30年目の桜

9日(日)



山々が新緑に包まれた今年5月上旬、群馬県上野村の「御巢鷹の尾根」に建つ昇魂之碑＝写真＝の傍らで、満開の山桜が淡いピンクの彩りを添えていました。「とっても、いい山になったわね」。美谷島邦子さん(68)がつぶやきました。1985年8月12日、単独機の事故としてはの墜落から30年。美谷島さんは9歳の次男を亡くした母



として、遺族会にあたる「8・12連絡会」の事務局長を務めてきました。惨劇の翌年、都心の桜が「灰色に見えた」と言います。かけがえのない人を不条理な事故で突然失った時、人は悲しみの底からどうやって立ち直るのでしょうか？ 美谷島さんと家族、そして仲間たちが歩んできた道のりを記します。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

あの人が生きていたら何を語るだろう

連載「会いたい 戦後70年の夏に」

夕刊2面特集ワイド 10日(月)から10回



戦後70年の夏が巡ってきました。国会で審議中の安全保障関連法案を巡り、憲法や平和を巡る問題が注目を集めています。他にもあり方が問われている課題は山積みです。経済成長だけを追求すれば幸せになれるのか、科学技術の進歩はバラ色の未来を約束するのか、女性が真に活躍できる社会とは……。この国が直面する数々の課題に、もしあの人が生きていたら何を語るのでしょうか。漫画家のやなせたかしさん、日清食品を創業した安藤百福さん、仏文学者の桑原武夫さんらを知る方々を訪ねました。

別所哲也のスマートトーク おんなのしんぶん 10日(月)

隔月で連載している「スマートトーク」。今回は、ゲストに女優の赤木春江さんをお迎えしました。軍隊の慰問劇団の団長として満州で終戦を迎えた赤木さん。その後、引き上げるまで1年2カ月も満州に滞在。その過酷な体験などを語っていただきました。「まだまだ言えないことはたくさんある」とのことでした。見出しは「戦争だけは絶対に嫌」です。

この対談は記事掲載と同時に、対談を収録した動画や写真特集、対談の全文書き起こしをニュースサイトにアップする予定です。ご期待ください！

ひらり ガウチョパンツ くらしナビ面 11日(火)

今年大流行している裾広がりのガウチョパンツ。体形をカバーすることができ、大人の女性でもはきやすいアイテムです。秋以降も流行は続きそうで、挑戦してみたいと思いつつも、どんなコーディネートが良いのか悩むところです。オンワード樫山のデザイナー、徳増陽宣(みつのり)さんに、大人の女性がはく際のポイントやコーディネートを教えてもらいました。





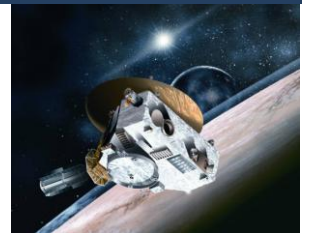
共働きの家庭は日中、家に誰もいません。地域とのつながりも薄れがち。しかし、災害時などいざという時には、地域の支え合いが大切になります。どうすれば町内会やマンションの自治会でご近所の方々とうまくお付き合いができるか、悩みを抱えている人も多いはず。日ごろからの心がけや注意点、ちょっとした気遣いなどを専門家にアドバイスしてもらいました。

「凍てついた最果ての星」覆す発見相次ぐ

科学の森 「ベールを脱いだ冥王星」

科学面 13 日 (木)

かつて太陽系 9 番目の惑星だった冥王星（現在は準惑星に分類）に初めて米航空宇宙局（NASA）の無人探査機＝想像図＝が接近しました。人類が初めて間近に目にした冥王星の素顔は、「凍てついた最果ての天体」のイメージを覆すものでした。富士山級の山々や広大な氷の平原など、科学者の常識を超える発見が相次ぐとともに、新たな疑問も浮かんできています。最新データを基に、冥王星の素顔と謎に迫ります。



人気スター像の転換

朝刊文化面 15 日 (土)



1945 年の敗戦を境に起こった男性俳優イメージの変化を、エッセー「映画と私の昭和」で長部日出雄さんが描きます。軍隊から復員後、職を求めて撮影所の友人を訪ねスカウトされた三船敏郎＝写真＝は、反抗的で不敵な態度が素質として見いだされ、大スターになっていきます。こうした人気俳優像の転換を黒澤明監督、三船主演の「酔いどれ天使」（48 年）を例に論じます。

毎日小学生新聞

毎日小学生新聞の売り物

記事はこれ！

毎日小学生新聞では戦後 70 年の今年、戦争について考える企画を連載中です。10 日からは著名な作家や落語家が、子どものころの戦争体験を語ります。10 日（月）は角野栄子さん、11 日（火）は宗田理さん、12 日（水）は山下明生さん、14 日（金）林屋木久翁さんです。13 日（木）は陰山式 絶対成績が上がる学習法を掲載します。



「月刊パラリンピック」スタート

11 日（火）から毎月第 2 火曜日掲載



リオデジャネイロパラリンピック開幕まで間もなく 1 年、東京パラリンピックも 5 年後に迫っています。障害者スポーツの祭典を目指す選手や、特別なルールの競技などを毎月第 2 火曜日に特集します。第 1 回は男子車いすランナーの副島正純選手（44）をクローズアップします。ホノルルマラソン 8 回、東京マラソン 5 回、ベルリンマラソン 2 回の優勝など、車いすマラソンの第一人者で、指導者としても活躍しています。障害者スポーツ選手のリレーコラムも掲載。第 1 回は昨年、車いすテニス世界ランキングで 1 位の座に着いた上地結衣選手（21）が担当します。「なるほどパラリンピック」では、障害者スポーツの競技を分かりやすく紹介します。第 1 回はゴールボールです。毎月第 3 火曜日の「月刊五輪」とともにお楽しみください。